祝辞

館林市長
多田 善洋

館林商工会議所青年部が創立45周年を迎えられましたことに、心からお慶び申し上げます。また、昭和54年11月の創立以降、約半世紀にわたり地域の振興発展のため、奉仕の志を持ち励まれてこられた市内若手経営者の皆様に、改めてお礼申し上げます。

私自身も平成10年5月から平成22年3月末までの約12年間にわたり貴青年部に在籍しており、この間、平成19年度においては会長を務めさせていただきました。平成18年度に企画した「『冬のつつじ』イルミネーション点灯式」も「たてばやし光のページェント点灯式」と名前を変え、継続して実施していただいておりますことは、感謝の限りです。

さて、今日の日本は非常に困難な時代にあり、それはこの館林市も例外ではありません。コロナの5類移行後、都市間競争が激しさを増す一方で、長引く原材料費の高騰や円安と、直面する課題は枚挙に暇がありません。

本市としましても、このような過酷な都市間競争を勝ち抜くため、会員の皆様からもご要望の多かった、まちづくりマネジメント法人「一般社団法人館林アーバンデザイン」を令和6年2月26日に設立したほか、新規産業団地の造成、フィルムコミッションの設立といった各種政策を進めているところです。こうした諸政策もさることながら、私が最も大切にしたいと考えているのが、「官民連携」です。都市間競争は例えればレースです。官と民がそれぞれ車輪の両輪となって連携し、目指すべき都市像へ、まっすぐに早く到達しなければなりません。そのためには、本市の努力はもとより、貴青年部をはじめとした関係各位のご支援とご協力が必要不可欠であります。どうぞ、皆様の新進気鋭の行動力と活力とを今後の本市発展のため、お貸しください。

結びに、この創立45周年を契機として、続く50年100年と、貴青年部が今後ともますます発展されますとともに、関係される皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。